

休日扱いで勤務を指示

富士そば「既に是正」

首都圏で立ち食いそば店エーワン「名代富士そば」を運営する会社の役員が、社員に対し勤務日の一部についてタイムカードを押さず、休日として申告するよう指示していたことが12日、分かった。新型コロナウイルスの影響などにより企業が支払った休業手当を国が補う雇用調整助成金の不正受給につながると社員が指摘し発覚した。

会社側は助成金の申請前に勤務記録を是正し、役員を厳重注意した。親会社の「ダイターンホールディングス」は6月初旬には、夜間に従業員2人で営業する店舗は

ス（東京）は「不正な申請には至らなかつたが重く受け止めている」とコメントした。

同社によると、運営会社「ダイターンディッシュ」で業務を統括する役員が5月中旬、店舗を管理する複数の本社係長に対し、「週2日は特別休暇に充てたいのでタイムカードを押さないで」とメールし、働いても休んだことに対するよう求めた。この特別休暇は休業手当の対象となっていた。

6月初旬には、夜間に従

業員2人で営業する店舗はスシユは6月中旬に勤務記録を修正、8月に助成金を申請した。

指示を受けた社員がグループの別の役員に、雇用調整助成金の不正受給になり得ると指摘。ダイターンディッシュは6月中旬に勤務記録を修正、8月に助成金を申請した。

20年11月12日朝日新聞

「働いても休みに」 役員が部下に指示

富士そば運営会社 指摘受け是正

立ち食いそば店「名代富士そば」の運営会社の役員が、店の従業員らが実際は

金の不正申請につながるとの指摘が社内であつたといい、会社側は取材に指示の事実を認めた上で「指摘によっては、従業員の勤務を減らすこともあるため、ダイターンディッシュは8月、4~6月分の雇用調整金の申請手続きをした。この時点で勤務記録は実態通りに修正していい出勤してもらう」などとして、1人を休んだことに対するよう求めていた。

グループを統括する「ダイターンホールディングス」によるところ、「当時は営業時間の短縮や感染防止対策などを指示してはいた」とがわかった。新型コロナウイルスの影響で休業した人の手当などを国が補助する雇用調整助成金（雇調

金）の不正申請につながるとの指摘が社内であつたといい、会社側は取材に指示の事実を認めた上で「指摘によっては、従業員の勤務を減らすこともあるため、ダイターンディッシュは8月、4~6月分の雇用調整金の申請手続きをした。この時点で勤務記録は実態通りに修正していい出勤してもらう」などとして、1人を休んだことに対するよう求めていた。

グループを統括する「ダイターンホールディングス」によると、その後、指示を受けた社員の一人がグループ内の別の役員に「雇用調整金の不正受給につながる」と指摘。勤務記録の不正な処理は中止されたという。緊急事態宣言による営業時間の短縮などで、実際に

（江口悟）